

農業ベンチャー部門大賞

年間を通した観光農業というビジネスモデルを創出

秩父地域の豊かな自然を生かし、県内でもいち早く年間を通した観光農業という農業経営を創出するなど、埼玉農業のビジネスモデルとなる創造的で、革新的な経営を実践

法人名：有限会社小松沢レジャー農園

市町村：秩父郡横瀬町

主な作目：ぶどう、いちご、原木しいたけ

1 経営の革新性

- (1) いちご・ぶどう園・原木しいたけを基幹品目に、数多くの品種を組み合わせ、周年の摘み取りを実施
- (2) 観光いちご園では高設栽培を導入し、通路等をバリアフリー化
- (3) 鉄道会社や旅行会社と連携し、農園情報の発信やホームページ等への広告掲載などのPR活動を実施
- (4) 安定した就業体系を実現し、地域住民の雇用を実施
- (5) 周辺農家と連携し、サツマイモやジャガイモ掘り等の農業体験を充実
- (6) 農園周辺に広がる山林や遊休農地にカエデ、クヌギ、アジサイ等を植栽するとともに、遊歩道を整備

2 地域農業への影響

- (1) 横瀬町観光協会会長として、地域の観光業を振興
- (2) 埼玉県地域指導農家として、将来独立を目指す就農希望者を積極的に受け入れ、自立するまでの支援を実施

3 審査員コメント

農産物を直接消費者に販売する観光農業というビジネスモデルを創出した。このモデルは、秩父地域はもとより、都市部にも広がっており、地域農業への影響は大きい。

推薦：秩父農林振興センター

農業ベンチャー部門優秀賞

ホームセンターとの契約による経営スタイルを確立

野菜苗生産の先駆者として、年間300万鉢の野菜苗・花苗の生産を行い、ほぼ全量をホームセンターと契約販売するという新たな経営スタイルを確立

法人名：有限会社グリーンファームさいとう

市町村：加須市

主な作目：野菜苗、花壇苗、水稻

1 経営の革新性

- (1) ホームセンターとの契約取引による安定した販路を確保
- (2) 平成10年に法人化し、経営規模と契約取引を拡大
- (3) きめ細やかな栽培管理を実施し、約80種類の良質な苗を生産
- (4) カントリーエレベータから出る籾殻を活用し、低コストで培土を生産
- (5) 新品種や作型をホームセンターに提案し、新商品を開拓
- (6) 商品説明用ポップを作成し、消費者の購買意欲を向上

2 地域農業への影響

- (1) 近隣農家に苗物生産のノウハウを提供し、新たに4戸を大規模苗物経営として育成
- (2) 宿泊施設を整備し、農業大学校や海外の研修生を積極的に受け入れ、農業後継者の育成に尽力
- (3) ほ場整備の実施に併せ、水稻採種組合を設立し、新たな種子産地を育成

3 審査員コメント

ホームセンターとの契約取引という新たな経営スタイルを確立するとともに、3年間増収を実現しており、今後も規模拡大や経営発展が見込まれる。

推薦：加須農林振興センター

農業ベンチャー部門優秀賞

米の生産から加工・販売という 農業の6次産業化を確立

協業による大規模主穀作経営に取り組むとともに、加工場を整備し、米粉パンやのし餅等の加工を行うなど、生産から加工・販売と農業の6次産業化を確立

法人名：有限会社中井農産センター

市町村：吉川市

主な作目：米、農産加工

1 経営の革新性

- (1) 多様なニーズや作期の分散等を図るため、数多い品種を栽培
- (2) 米や農産加工品は、量販店やJA直売所等で販売
- (3) 自ら加工場を整備し、米粉パンやのし餅など40品目以上の加工品を製造
- (4) 全ての加工品に「こだわり農家」（商標登録済）を記載し、商品のブランド化を実施
- (5) 市内の温泉施設やパーキングエリア等での販売など、常に新たな販路を開拓
- (6) 労働災害補償保険に加入するとともに、退職金として中小企業退職金共済制度を活用

2 地域農業への影響

- (1) 当該法人をモデルとして、市内に2組織の大規模主穀作法人が設立
- (2) 市内の全小中学校に学校給食用として米粉パンを提供するとともに、食農教育にも尽力

3 審査員コメント

米は儲からないと言われている中で、6次産業化に先駆的に取り組み、儲かる米経営として水田農業のモデルとなっている。

推薦：吉川市